

「高等学校 化学基礎 教授資料」 (化基309) 訂正のお願い

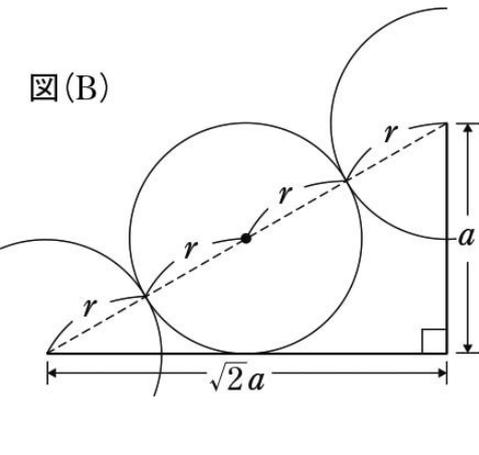
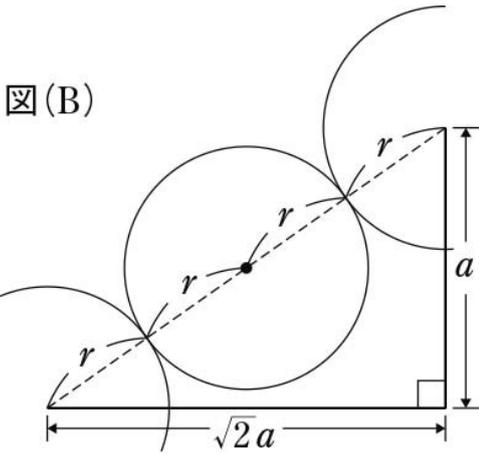
常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。

誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

頁	行	原文	訂正文
5	34~37	融解塩電解 (融解電解) <u>教p.155</u> 専門書では溶融塩電解という用語が用いられているため、昭和61年に全国金属関係教室協議会 (全国大学の金属系教室の団体) から、融解電解という語を“溶融塩電解”もしくは“融解塩電解”という語に改めてほしいとの示唆を受けた。さらに文部科学省からも指示があり、融解電解を融解塩電解に改めるようにした。	日本化学会による高等学校で用いる用語に関する提案(1)について 2015年3月、日本化学会より「化学基礎」の教科書で使われている用語について、変更や用法の見直しを求める提案が発表された。これを受けて、以下の用語について対応した。 希ガス：「貴ガス」を主に用いるようにし、一部では「貴ガス (希ガス)」のように併記する。 融解塩電解：「溶融塩電解」を主に用いるようにし、一部では「溶融塩電解 (融解塩電解)」のように併記する。
40	36~39 (左段)	2011年12月現在では、118番元素まで発見の報告があるが、113番以降の名前は正式には決まっていない。したがって、これらの元素はIUPACの提案した体系名に従ってよばれる。100番以降の元素の体系名 (学術名) は次のように命名されている。	2016年11月に、IUPACは、原子番号113, 115, 117, 118の元素の名前と記号を正式に決定した。 なお、正式な名前が決定されるまでは、以下のようなIUPACの提案した体系名 (学術名) が用いられる。
50	14(左段)	希ガスとその化合物	貴ガスとその化合物

71	図(B) (右段)		
113	下表 「リチウム二次電池」の「正極」	$\text{Li}_{1-x}\text{CoC}_2$	$\text{Li}_{1-x}\text{CoO}_2$
117	29(右段)	<u>融解塩電解</u>	<u>熔融塩電解</u>
169	19(左段)	$\text{H}_2\text{SO}_4 + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{HSO}_4^- + \text{H}_3\text{O}^+$	$\text{H}_2\text{SO}_4 + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{HSO}_4^- + \text{H}_3\text{O}^+$

※p.50 以外に記載されている「希ガス」も「貴ガス」に変更となります。

※p.117 以外に記載されている「融解塩電解」も「熔融塩電解」に変更となります。

※お持ちの刷では、上記の更新内容が修正済みの場合がございます。

記述の更新等に関するお知らせ

2019年5月20日に国際単位系（SI）が改定されたことを受け、下記の記述の更新がございます。ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

頁	行	更新前	更新後
48	左段 16	現在は別の方法で測定されていて、 $e=1.602176565(35)\times 10^{-19}$ C である。	現在は、 $e=1.602176634\times 10^{-19}$ Cと定義されている。
76	27	A アボガドロ数と物質質量 ●アボガドロ数 ^{12}C 原子の 12 g の中 にある ^{12}C 原子の数 (6.02×10^{23})。 ●物質質量 (略)	A 物質質量とアボガドロ定数 ●物質質量 (略) ●アボガドロ定数 1 mol 当たりの粒子 の数 (6.02×10^{23} /mol) 。
78	21	参考 ●物質質量	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
80	左段 31	解説 原子量の基準を変えると、変化する定数があるか	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
80	右段 7	参考 アボガドロ数の測定法	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
81	右段 10	<u>0.012 kg (12 g) の炭素 12 (^{12}C) の中に存在する原子と等しい数の単位粒子を含む系の物質質量を 1 mol (1 モル) とする。</u>	<u>6.02214076×10^{23}個の単位粒子を含む系の物質質量を1 mol (1モル) とする。</u>
	右段 36	ちょうどファラデー定数が 9.64853365×10^4 C \cdot mol $^{-1}$ で表される のと同じである。	ちょうどファラデー定数が 9.648533212×10^4 C \cdot mol $^{-1}$ で表される のと同じである。
	右段 38	アボガドロ数は、上の 1 mol の定義にある ^{12}C の 12g 中に含まれる炭素原子の数である。これは、1 原子質量 ($1.660538921\times 10^{-24}$ g) の数値の逆数 になる。	※文章全体を削除（モルの定義が改定されたため）
81	右段 42	解説 モル質量	※項目全体を削除（モルの定義が改定されたため）
117	左段 14	よく、1 A (アンペア) の電流が 1 秒間流れると 1 C (クーロン) の電気量であるという定義が記載されているが、このことを用いて…… (以下略)	1 A (アンペア) の電流が1秒間流れたときの電気量は1 C (クーロン) である。しかし、このことを用いて…… (以下略)

127	左段 2	現行の国際単位系 (SI) の原典は国際度量衡局が <u>2006年4月</u> に発行したフランス語および英語の文書第 <u>8版 (2006)</u> である。	現行の国際単位系 (SI) の原典は国際度量衡局が <u>2019年5月</u> に発行したフランス語および英語の文書第 <u>9版 (2019)</u> である。
	左段 4	日本語版は下記の文献が記載ある (表の①～⑤はこれらの出典)。 ① (略) ② (略) ③ (略) ④ (略) ⑤ (略)	※文章全体を削除 (SI 基本単位の定義が改定されたため) ※以下、表タイトル横の①～⑤を削除。
	左段 30	<SI 基本単位の定義>	※表全体を削除 (SI 基本単位の定義が改定されたため)
128	右段 2	参考 基本単位 (キログラム, モル) の定義が変わる?	※項目全体を削除 (キログラムとモルの定義が改定されたため)

※お持ちの刷では、上記の更新内容が修正済みの場合がございます。

以上